

「この本、売ってください。ここにいる時間じゃとても読み切れないから」  
「早く続きが読みたい」きらきらした瞳をして、受付で患者さんがこんなことをおっしゃいました。その時、私はまだ、暑さ 2 センチのこの本を読んでいませんでしたが、実際にページを開くと、すぐにその内容に引き込まれ、1 日で読み切ることができました。受付で「早く続きを読みたい」と言った患者さんの気持ちがわかりました。

竹田さんが 4 か月もの長い時間をかけて取材した後に放送された「カンブリア宮殿」は、院長のスタジオでのトークも加わり一般の方にもわかりやすいとても素晴らしい番組でした。さらに、今回出版されたこの本は、カンブリア宮殿では放送しきれなかった内容がぎゅっと詰め込まれ、院長の人となりや、日吉歯科の日常が身近に感じられる、奥深い読み応えのあるものに仕上がっていました。

院長の一番の勝負歌や、同僚の衛生士たちがなぜこの道を志したのか等は、実際に日吉歯科で働いている私も、この本を読んで初めて知る事実でした。長年、院長をはじめ、日吉歯科を信頼して通院されている患者さんが読んでも、きっと何か新しい発見があると思いました。反対に、まだ日吉歯科を知らない方も、初診で訪れた中村さん（仮名）を通して、実際に日吉歯科の初診を体験した気持ちになるのではないかな、と感じました。この本には、院長の予防歯科に対する真剣な志、メンテナンスが酒田市民に浸透するまでの苦労、なぜ予防が大切なのか、日吉歯科のスタッフの心意気が凝縮されています。身近にいる未来院の夫や、友達、そして、生涯自分の歯で食事を楽しみたい多くの人達に是非読んで欲しいと思いました。